

*Kyoto Building Maintenance Association News No.76*

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第76号  
発行日/2017年1月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会



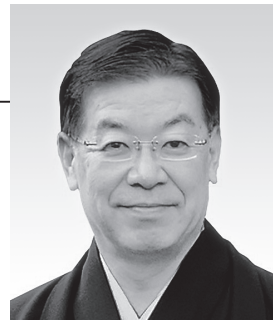
- 新年のごあいさつ
- 第36回 全国障害者技能競技大会(アビリンピック)
- 故矢口雅彦 名誉会長 儀「お別れの会」

CLEAN CREW



# 共生社会の実現に向けて

## 京都府知事 山田 啓二



府民の皆さま、あけましておめでとうございます。  
昨年を振り返って

昨年は、地方創生の動きが本格化する中、オール京都の取り組みで文化庁の京都への全面的移転が決定するとともに、京都丹波高原国定公園の誕生と「京都モデルフォレスト運動」の10周年を祝い、森の京都博の中核イベントとして第40回全国育樹祭を実施するなど、京都の地域力を生かした取り組みを積極的に展開することができました。また、京都を縦貫する自動車道が京丹後市まで開通し、観光客も過去最高の賑わいを記録する中、京都舞鶴港にも多くのクルーズ船が来港するなど、観光の面でも充実した一年になりました。改めて関係の皆さまにお礼を申し上げます。

しかし一方では、熊本地震や鳥取県中部地震など災害が相次ぐとともに、平成27年の国勢調査の結果からも、少子高齢化や東京一極集中の進行が改めて確認されました。また、北陸新幹線のルート選定過程でもクローズアップされた地域間格差の問題や、増加する非正規雇用の問題、子どもの貧困問題など、社会構造の変化から生じる問題も深刻化しつつあります。

さらに、国際情勢を見ても、保護主義的な思想の台頭が顕著になるなど、様々な観点から二極化が進んでおり、その中で争いの種が芽を出し始めていることに危惧を覚えています。また、昨年、神奈川県相模原市の障害者施設で起きた痛ましい事件は衝撃的でしたが、他者に対する尊重の念を忘れた事件も増加してきているような気がするの私だけでしょうか。

### 共生こそ京都の文化

今年京都は、地域創生戦略に基づき、「文化創生」により京都の価値を発信していこうとしています。私は、この京都の「文化」の中にこそ、こうした時代に立ち向かう大きな答えがあると信じています。

京都は長い歴史に彩られた地域です。丹後王国として栄えた北部、平城京から恭仁京や長岡京など、遷都を繰り返しながら平安京に至った南部、豊かな森の恵みで都を支えた中部。それぞれの地域が個性を生かし、互いを支え合って京都をつくっています。近年、環境問題や少子高齢化など持続可能性が問題になりますが、まさに京都の文化は持続可能な文化と言えます。

もともと平安京という都自体、唐の都長安を模したものでありますが、外国から輸入した文化を日本独特の文化へと育むことにより、千年の都として「歴史との共生」を果たしてまいりました。さらに、千年の間、都であり続けたという持続可能性を支えたのが、京都議定書の精神に代表される「環境との共生」です。

また、仏教各宗派の本山が多く存在するとともに、日本で最初のキリスト教主義の大学が京都で開学されるなど、多様な思想が共生する京都

には、伝統産業から先端産業まで幅広い産業が共生し、さらには、47の大学が個性を持ちながら共生しています。

そして、門掃きや打ち水などに見られるように、人々が隣人に対する思いやりを持って接する京都の文化は、まさに、「共生の文化」というべきものだと思います。

海と人、森と人、お茶と人と、京都府は新しい共生の道を探ってきました。また、学研都市では、文化と学術の共生が花開こうとしています。この共生という文化こそ、京都が今世界に問わなければならない文化ではないでしょうか。

若者も高齢者も、女性も男性も、障害者も健常者も、ともに支え合って、お互いの個性を尊重することができこそ、はじめて持続可能な社会が成立し、将来に向けて共に発展する可能性が生まれるのではないのでしょうか。

右か左か、黒か白かといった二者択一の対立と争いの中で、排斥と淘汰が繰り返される世の中だけは後世に残たくありません。様々なものが共生する中で、未来に向けて発展することのできる社会こそが、京都に生きる私たちが次の世代に託すべきものではないでしょうか。

### 「もうひとつの京都」

「もうひとつの京都」では、「海」「森」に続き、いよいよ「お茶の京都」の年を迎えます。舞台となる山城地域は、「日本茶のふるさと」として、古くからお茶の文化を支え、育ててきた地域です。家族団らんの象徴であり、一期一会の文化の源であるお茶、そしてそれを支える山城の景観。ここにも「共生の文化」が息づいています。「Discover Premium Green」のコンセプトのもと、「お茶の京都博」で世界に京都文化を発信する年にしたいと思います。

そして、「もうひとつの京都」セカンドステージを牽引する各地域のDMOのもと、地域やその地に暮らす人々の結びつきを生かし、共に支え合って生きていく「共生の観光」を育てていきたいと思っています。

### 共生社会の実現へ

こうして本年、京都府は、子育てや医療、産業、労働、環境、観光などあらゆる分野で、「共生」をキーワードとして、府民の皆さまの生活に寄り添った施策を進めてまいりたいと考えております。「交流」と「文化」から生み出される「京都力」を存分に発揮し、京都から世界へ、100年後、200年後の未来へとつながっていく新たな「共生社会」の実現に向け、共に歩んでまいりましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 平成28年度「防除作業従事者講習会」開催

平成28年11月4日(金) 9:00~

平成28年1月4日(金)、平成28年度「防除作業従事者講習会」が京都協会、奈良協会共催にて開催されました。

本講習会は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく、建築物ねずみ昆虫等防除業の登録要件として定められた研修であり、防除作業の質の向上と安全施行を目指して毎年開催されるもので、京都府並びに奈良県から22名が参加されました。

まず、京都協会 古河理事より開講の挨拶があり、そして、京



都府健康福祉部生活衛生課 新野 寛様による「建築物の環境衛生行政」に関する講義から始まりました。

続いて、京都市衛生環境研究所 土佐 佑輔 様より「ゴキブリの生態と防除」・「蚊の生態と防除」について講義いただきました。

最後は、協会講師4名による「防除作業従事者の責任と任務」・「その他の害虫の生態と防除」・「ネズミの生態と防除」・「防除作業の安全管理」に関する講義が行われ、講習会は終了いたしました。

長時間の講習にも関わらず、参加者全員が熱心に傾聴され、明日からの業務に役立てればとの思いを持って頂いたのではないかと感じました。

本講習会は、人的要件をカバーする為だけではなく、実務面でも重要な講習会であり、参加されることにより、各社のレベルアップが図れ、商取引機会の拡大にも繋がると考えております。

記事：藤井

# 文化の力で日本を元気に！世界に貢献！

京都市長 門川 大作



新年あけましておめでとうございます。  
 この一年が皆様にとって幸多い年となりますようお祈り申し上げます。  
 昨年は、京都が文化で彩られた一年でした。「文化の殿堂」ロームシアター京都のリニューアルオープンに始まり、鉄道博物館や漢字ミュージアムは新たな賑わい拠点に。京響60周年やマンガミュージアム10周年、伊藤若冲生誕300年と多くの節目が重なり、盛り上がりました。  
 そんな中、長年の悲願であった文化庁の全面的な移転が決定！市民ぐるみ、オール京都の取組が実を結び、嬉しく思う一方で、京都が負った責任の重さもひしひしと感じています。  
 生活文化、地域の絆や自然との共生、ものづくり、おもてなしの心などが千年を超えて受け継がれてきた京都。京都に息づく文化を活かすと同時に、文化と伝統産業、観光、教育、福祉、健康長寿、コミュニティの活性化などあらゆる分野を融合させる新たなモデルを創造し、文化の力で全国を元気に。新年のスタートに当たり、決意を新たにしています。  
 そして本年、文化庁の地域文化創生本部（仮称）が発足。さらに2月

から11月まで実施する「東アジア文化都市」では、日中韓、アセアンとの文化交流を深め、世界平和に貢献。大政奉還150周年事業や2020年東京オリ・パラに向けての文化力プロジェクト。京都議定書誕生20周年で環境問題にも力を入れます。  
 東京一極集中の是正や人口減少社会の克服が大きな課題です。より一層の子育て支援や中小企業の活性化、安定した雇用の創出、防災減災等、安心社会の実現。暮らしに安心、豊かさ実感、未来に責任！そのための取組を確実に実施し、これらの課題に皆様と共に取り組んでまいります。  
 「京都で子育てしてよかった」「京都に住み続けたい」と実感できるまちの実現に向け、共に力を合わせてまいりましょう！  
 本年も御指導、御支援、よろしく願いいたします。

## 第3回「KBMAボウリング大会」開催

平成28年11月4日(金) 18:30～ しょうざんボール

平成28年11月4日(金)、しょうざんボールにて第3回「KBMAボウリング大会」が開催されました。  
 今回で3回目の開催となりましたが、会員企業より56名もの参加をいただき、ストライクでの歓声も有れば、溝掃除ばかりやとほやく声も聞こえ、各レーンとも、終始和やかな雰囲気につつまれたゲームが展開されておりました。



ゲーム終了後は、チャイニーズレストラン「桜蘭」にて懇親会が行われ、藤井副会長の挨拶と乾杯のご発声により開宴され、各テーブルでは、美味しい中華料理を食べながら、ボウリング談義に花が咲いておりました。  
 そして、下坊総務委員長の司会にて、スポンサーから順番

にBB賞、飛び賞と結果発表が行われ、名前を呼ばれた方とお仲間からの歓声が上がると、いよいよ3位、2位、優勝の発表となり、見事優勝の栄誉に輝かれたのは、芦谷 健氏(都総合管理(株))で、緊張しながら喜びの挨拶をされました。  
 最後は、長谷川広報委員長による中締め挨拶により、和やかな雰囲気の中にお開きとなりました。

賞品を協賛いただきました企業様には、心よりお礼申し上げます。  
 記事：長谷川

### <結果発表>

優勝	芦谷 健 [都総合管理(株)]
2位	竹島 大貴 [(株)LEE]
3位	石田 明日華 [都総合管理(株)]
BB賞	川上 泰司 [近建ビル管理(株)]

## 『世界の京都・まちの美化市民総行動』 ～楽しくきれいを広げよう～

平成28年11月6日(日) 10:00～ 京都市役所前

昨年の11月6日の日曜日、朝10時～12時にて、毎年参加しております「世界の京都・まちの美化市民総行動」が開催され、青年部の11名が参加いたしました。  
 当日は、小雨が降る中、約3,400名の方が参加され、門川市長を先頭に、各団体が啓発のプラカードを持ってのパレード班と、ゴミ拾い班に分かれて、市役所前を出発、京都協会も、(公・社)京都ビルメンテナンス協会のプラカードを持ち、お揃いのジャンパーを着用して町を練り歩き、啓発用品を配りながら街ゆく人たちに、おいおいPRいたしました。  
 この取り組みは、京都市と事業者で実行委員会が構成され、市民、事業者、行政の協働により、6月の「環境月間」と、11月の「京都市美しいまちづくり推進月間」を中心に、年間を通して「まちの美観を守ること」を目

的に活動されている行事です。  
 青年部として、今後もこの活動に参加させて頂くことで、まちの美化について市民の皆さんに少しでも関心を持って頂くこと、そして、京都協会の活動を少しでも知って頂くことを目的に頑張っておりますので、活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。  
 参加していただきました皆様、本当にお疲れ様でした。  
 記事：平井・吉川(青年部)



# 新年のご挨拶

公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会 会長 **花田之宏**



あけましておめでとうございます。  
 皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。  
 また、平素より協会運営にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 昨年皆様のご協力のもと、事業計画に基づき、一連の事業を大過なく無事実施することができました。改めて御礼申し上げます。  
 さて、昨今の経済状況は、好況感が感じられないにもかかわらず、我が業界における人材不足が年々深刻化しております。就労意欲のある人が少なくなった訳では決していないと思いますが、ビルメンテナンスという仕事が、働く人にとってもっと魅力的なものになるよう、業界全体として、対策を講じていかなければならないと考えております。  
 最低賃金におきまして、ここ2年は毎年3%近く上昇しており、この10

年間で21%も上昇しております。しかし、受契金額は最低賃金に比例して上がる訳でもなく、人件費は上がるが、契約金額は上がらないというジレンマに陥っており、これがこの業界の現実であります。  
 この状況を打開するにはどうすればよいのか…協会といたしましても、あらためて、一つの大きな課題として取り組んで行かなければならないと考えております。  
 昨年の干支「申」は、果実が成熟し固まっていく状態を表すとされており、本年の「酉」は、その果実が実り収穫する年であるとされております。  
 年頭にあたり、協会員の皆様にとって実り多き年でありますよう祈念いたしますとともに、本年も格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 平成28年度「経営開発セミナー」開催

平成28年11月16日(水) 13:30~15:00 京都府中小企業会館 805号室

昨年の11月16日(水)13時30分より、経営開発委員会主催によるセミナーが、「ビルメンテナンス業の未来を生き抜く方策」と題して開催されました。  
 先ず、滋野経営開発委員会委員長の司会にて、京都協会 花田会長より「多数の協会員並びに、愛知県協会からもご参加いただき、誠にありがとうございます。有意義なセミナーに成ることを期待しております。」と挨拶があり、続いて、講師の公認会計士 梅原 克彦氏が紹介され、セ

ミナーが始まりました。  
 梅原講師には、2009年に開催された「ビルメンヒューマンフェア'09 in 京都」においても、講師としてお世話になっており、当時話されたことを懐かしみながら、「あれから8年…」より話がはじまり、「自社がどの様に変わったか」「会社をどうしたいのですか」「生き抜く方策」とプロジェクターを使ってどんどん話が進み、「リーマンショック以降、社会がどの様に変わったか、また、阪神淡路大震災以降、インターネットが一気に発展したこの変化が価値で、これを価値観として感じているかが如何に大切かを考えないといけません、そして、常に未来に向かって考えているかいないかが大切なことであり、このことが将来を大きく変えていくことになりま

す」と話され、講演は終了しました。  
 続いて、青年部の植西氏より、株JR東日本テクノハート「TESSEI」の視察報告があり、新幹線の折り返し運転のインターバル13分間の中で、7分で車内清掃を完璧に実施されている「奇跡の7分間」から学んだことは、「何故、作業員のモチベーションが高いのか?それは、清掃作業のその先を彼らは見ている(快適な空間づくり・乗客の安全・ダイヤの運行・誇り)からであり、この業界に居る我々が、今後、業界発展のために自分たちがしなければいけないことは何かを、改めて考えさされる良い機会となりました」と話されました。  
 セミナー終了に際し、京都協会 渡守副会長より、梅原講師に対しお礼を述べられ、また、参加された協会員の皆様には、京都協会の活動への協力をお願いされ、セミナーは終了いたしました。

記事:長谷川



## 社会福祉法人 京都光彩の会より「感謝状」受賞

平成28年11月19日(土) 11:00~ 京都労働者総合会館 ラポール京都

昨年の11月19日(土)11時より「社会福祉法人 京都光彩の会」の20周年式典がめでたく執り行われ、(公・社)京都ビルメンテナンス協会より花田会長が招待されました。  
 式典におきまして、京都光彩の会 理事長 加藤博史様より、「貴団体は、精神障がいのある人に対して深いご理解のもと、清掃講座を開催頂くなど、多年に亘りご尺力を頂きました。つきましては、法人設立20周年を迎えるにあたり、その功績を讃え、感謝の意を表し、今後のご協力をお願い申し上げます」と感謝を込めて述べられ、感謝状を授与されました。

京都光彩の会様とは、20年前、故 矢口名誉会長が京都協会の会長時代に、支援活動の要請を受けお付き合いが始まり、長きにわたる清掃作業の技術指導活動が評価されての受賞であり、京都協会の公益事業活動が認められた結果だと思っております。  
 「京都光彩の会」の皆さま、20周年、誠にありがとうございます。

記事:長谷川



## 京都・梅小路みんながつながるプロジェクト 「梅小路キッズアートキャンパス」に参加して

平成28年11月23日(水・祝) 11:00~16:00 元安寧小学校跡地

平成28年11月23日(祝)11時~16時にて、京都・梅小路まちづくり推進協議会主催による、京都・梅小路みんながつながるプロジェクト「梅小路キッズアートキャンパス」が下京区の元安寧小学校跡地にて開催されました。



当日は、京都協会青年部から10名が参加させて頂き、初めての事業経験ということもあり、すべてが新鮮で、何度も主

催者側と打ち合せを重ね、少しでも良いものにしようと頑張りました。

来場されたご家族に対し、お掃除の仕方を説明させて頂いたり、いつも私たちが使っている清掃資機材についても説明、また、子供たちに触ってもらうことで、少しでもビルメンテナンスのを知ってもらおうとPR活動に励み、そして、全国協会でもお馴染みのマスコット「アライグマのピカタン」の着ぐるみを着た青年部員が、汗だくになりながら子供たちを喜ばせておりました。

今後もこのような機会があれば、是非参加させて頂き、(公・社)京都ビルメンテナンス協会の活動をPRしていきたいと考えております。参加していただきました青年部の皆さん、お疲れ様でした。

記事:平井(青年部)

## 平成28年度『京しごと技能検定』

平成28年11月29日(火) 京都府中小企業会館 2F大ホール

平成28年11月29日(火)13時より、「京しごと技能検定」が、京都府中小企業会館2階大ホールにて開催されました。(主催:京都府教育委員会・主管:京都府立特別支援学校長会)

当検定は、京都府立特別支援学校の生徒達が、日頃の職業教育等の学習の成果を発表するとともに、外部専門家からの客観的な評価による認定を受けることで、目標に向かい挑戦する意欲を育み、生徒が自立と社会参加への自信を深め、また、府民や企業からの理解と信頼を得ることにより、雇用の促進を図ることを目的としており、第1回目の今回は、



京都府内の特別支援学校4校より66名の参加がありました。

検定内容は、乾式モップ・自在ほうき・タオルのいずれか一つで行う「単一型」と、乾式モップ・自在ほうき・タオルの全てを一連の流れで行う「複合型」とに分けられ、検定員(ビルメンテナンス協会員1名・清掃受講

教員1名)が評価を行い、評価結果に基づき、京都府立特別支援学校長会より認定書(1~10級)が授与されるという検定方法であります。

参加された生徒さんは、それぞれの検定を行うコートに移動され、やや緊張した面持ちで真剣に作業に取り組み、個々の検定終了時には、皆さんが暖かい拍手で迎えられるなど、終始、和やかなムードの中で検定は進みました。

検定終了後は、各コートにて認定証が授与され、生徒さんの満面の笑みがあちこちで見受けられ、当検定開催の意義を改めて感じさせて頂きました。

府立特別支援学校に通うハンディキャップを持った生徒達が、努力したことに對し、客観的に評価されたと感じることで、自信を持つことに繋がれると思うと、第2回、第3回と続けることが大事なことであり、(公・社)京都ビルメンテナンス協会の社会貢献活動の必要性を改めて感じました。

記事:藤井



## 平成28年度「アビリンピック京都大会 参加学校向け講習会」開催

平成28年12月14日(木) 11:00~16:00 京都府中小企業会館 708会議室

昨年の12月14日(水)、京都府中小企業会館708会議室において、2月11日に開催される「第14回アビリンピック京都大会」参加学校向けの指導者講習が開催され、4名の指導者及び2名の支援団体の方が参加されました。

アビリンピック出場を通して、参加者の就労支援をしていくことは、京都協会の支援活動の一つであり、今年も、指導者のための講習会をぜひ開催してほしいという要望があり、開催させて頂く事となりました。



この日は、カーペット床と弾性床・机上清掃の実技がメインテーマで、講師によるデモの後、一人一人に対しきめ細かく指導がされ、細やかな動作を再確認されていましたが、いつもは教える立場の方達も、実際にやってみると勝

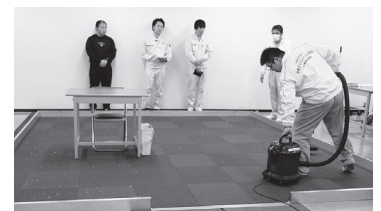
手が違うところに、少々手間取っておられました。

指導の際には、フォームや手順だけを覚えさせるだけではなく、なぜその動作をするのかと言う理由説明が大切であること、また、大会へ出場して優勝することだけが目的ではなく、課題を通じて美観を保つこと、お客様に迷惑をかけないこと、資機材を大切にすること、と言った実業務に繋がること等、指導のポイントについて、多くを学んで頂いた講習であったと思います。

講習終了後、古河講師より「普段教えておられるので流石の出来ですが、今日の講習でさらに自信がつけられた事と思います。実際の指導に大いに役立てていただけることを願っております」と、締めくくられました。

京都協会では、今後も、就労支援に繋がる支援活動を、さまざまな形で続けていきたいと考えております。

記事:高寄



# 第36回 全国障害者技能競技大会(アビリンピック)

京都代表 藤本聖佳さん ☆みごと銀賞受賞☆

平成28年10月15日(木) 山形県総合運動公園

平成28年10月28日～30日の3日間、山形県総合運動公園にて第36回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)が開催され、京都代表として藤本聖佳さん(日新ハートフルフレンド株式会社)が出演されました。

22種目ある競技の中でも、ビルクリーニング部門は各都道府県の代表45名が競い合う激戦区となり、競技は、「掃除機によるカーペット清掃・ダスタークロスとモップによる弾性床清掃」の2つの課題を、それぞれ制限時間内にいかに無駄なく綺麗に仕上げるかを競います。前日に、会場仕様がタイルカーペットから1枚のロールカーペットに、シュレッダーごみからおがくずにと、突然の変更があり、選手と関係者一同は動揺しましたが、そこは本番に強い藤本さん、緊張しながらも堂々といつもの力を発揮され、結果は見事、銀賞受賞!!これで京都は、5大会連続入賞となりました。

会場内では、前日、藤本選手の練習風景を見ておられた他県の関係

者より「京都の演技がすばらしかったので、ビデオ撮影させてもらいたい」「ど

のような指導をされているのか、今後の参考にさせていただきたい」等の声を掛けていただき、指導、応援に携わってきた私たちにとって、嬉しさと共に、今後への大きな励みとなりました。

今回お世話になりました関係者の皆様、当日応援に来てくださった方々、本当にありがとうございました。

記事：南部(公益事業委員会)



## 故 矢口雅彦 名誉会長 儀「お別れの会」

平成28年11月21日(月) 京都ホテルオークラ

昨年の11月21日(月)、京都ホテルオークラに於いて、故 矢口俊彦 名誉会長の「お別れの会」がしめやかに執り行われました。

当日は、10時30分受付にも関わらず、早くから多くの参列者が来られ、受付ロビーでは、故人を惜しむ会話があちこちから聞こえ、改めて、影響の大きさを感じました。

11時30分、420名もの参列者がおられる中、実行委員会を代表して、京都府議会議長 植田喜裕氏より開会の辞が述べられ「お別れの会」が始まり、先ず、ビルメンテナンス議員連盟会長 衆議院議員 伊吹文明先生を筆頭に、全国ビルメンテナンス協会会長 一戸隆男氏、ご友人を代表して、全国ビルメンテナンス協会参与 山本秀明氏より、心のコもったお別れの言葉が述べられ、早すぎるお別れを惜しまれておりました。

お別れの言葉を聞かせていただいて、故人と皆さんとの馴れ初めから、数々の功績、これからの活躍を期待されておられたこと等々、改めて、大切な方が亡くなられたのだということ、実感させられました。

お別れの言葉に続き、奥様 矢口満子様より参列者の皆様に対し、お礼の言葉が述べられ、この後、祭壇に献花させていただきましたが、祭壇の写真を見上げた時、思わず「早すぎます」と心の中でつぶやいておりました。

昼からの「お別れの会」にも200名もの参列者が来られ、この一日で、京都協会会員のほゞ全社並びに、各都道府県のビルメンテナンス協会会長を始め、多くの関係者が参列され、故人を偲んでおられました。

あらためて、ご冥福をお祈り申し上げます。

記事：長谷川



### KBMA Information [1月から3月の予定]

#### 【公益事業委員会】

##### ■ビルクリーニング基礎講座・中級

- ・1月10日 京都府中小企業会館 801会議室
- ・1月13日 京都府中小企業会館 801会議室
- ・1月17日 京都府中小企業会館 801会議室

##### ■貯水槽清掃作業従事者研修

- ・1月20日 京都府中小企業会館 708会議室

##### ■アビリンピック京都大会出場者練習会

- ・1月10日 京都府中小企業会館 801会議室
- ・2月3日 京都府中小企業会館 801会議室

##### ■清掃作業従事者研修指導者講習

- ・2月9日 京都府中小企業会館 802会議室

##### ■第14回アビリンピック京都大会

- ・2月11日 京都府立京都高等技術専門校

#### 【安全衛生委員会】

##### ■委員会開催

- ・1月26日 協会事務局 会議室

#### 【広報委員会】

##### ■委員会開催

- ・1月26日 協会事務局 会議室

##### ■KBMAニュースVol76(冬号)

- ・2月 発行予定

#### 【総務厚生委員会】

##### ■新年賀詞交歓会

- ・1月6日 リーガロイヤルホテル京都

#### 会員の變更事項

##### 【正会員】

##### ●退会

- 株式会社ニッシンビルメンテナンス  
(平成29年1月31日退会)

##### 【賛助会員】

##### ●新入会

- 株式会社スリーエスコポーレーション  
〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町井尻64-4

TEL0774-41-4100 FAX0774-41-4101

(平成28年12月1日入会)

**KBMA**  
**京都ビルメンニュース**  
第76号(2017年冬号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人：広報委員会 発行人：花田之宏  
発行所：公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会  
〒615-0042

京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F

TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860

ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

## ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。

詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナンス協会検索」をご覧ください。ご覧頂くか、協会事務局までご連絡なくお問い合わせください。